

こんにちは、 日本共産党井上けんじです

日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2019年2月17日号



水道代・地下鉄運賃・施設使用料等、消費税転嫁・値上げ! 大型事業も多遣いの「一方で」財政危機を強調

市長がアベ政治追隨の市予算案を提案

19日開会の2月予算議会に向け、12日、市長が、来年度予算案を発表しました。主な特徴と思われる点を紹介します。

駅周辺整備など、大型公共事業推進の一方で、相変わらず「財政危機」の連発で、職員削減（市民サービス低下）や公務の「民間化」を進めていること。

市長、「『地域』企業条例」!?を提案

市間競争に勝つ、「海外富裕層の誘致に向け、た商談会に参加」など、

「京都市株式会社!?」とも見まがうような方向が目立つこと。
 ◎国保料・介護保険料など、高止まりのままであること。保育料軽減は消費税増税と抱き合わせて流動的であること、等々。

◎10月から、地下鉄運賃や水道料金、各施設使用料など、ことごとく、消費税上乗せ・転嫁による値上げ予算となっていること。

◎リニア・北陸新幹線誘致や川端通（鴨東線）拡幅工事、JR梅小路新

◎その「民間化」は、財政節約だけでなく、市民の暮らしを守るべき公務を、大企業の営利の対象として提供する意図をもって進められようとしていること。

◎「中小企業振興条例」制定を繰り返し求めてきた日本共産党や関係

者の声に、遂に市長が重い腰を上げたこと。◎しかし「地域」企業と銘打って、中小企業と大企業との違いをあいまいにしており、「地域企業には大企業も含まれるか」との井上議員の質問に、市も「含まれる」と答えています（事前ヒヤリング）。

◎従って大企業の役割や、また金融機関の役割



今年も守った敬老乗車証

来年度予算案のうち、敬老乗車証制度は例年通りの提案で、今年9月の更新や来年度中の新規申し込みについては、「現行維持」が、明らかになりました。以前から市長が「乗る毎、100円程度の運賃支払い」との改悪方向を打ち出しているものの、市民の運動と共産党の追及で、目下、改悪具体化は許していません。井上議員も、独自の冊子の発行など、改悪許すな、の論陣を張っています。

写真は「敬老乗車証守ろう連絡会」の皆さんの集会と署名提出。党議員団も同席(2/7)。



九条健康友の会新年会にて(2/10)

割などに、全然、触れていないこと。
 ◎特に井上議員が求めたきた零細自営業者支援策については、全く触れられていないこと。
 ◎1月末に市民意見募集をおわたしたばかりなのに、早速条例提案とすることは、等と井上議員は考えています。ご意見など、ぜひお寄せ下さい。



南区生活と健康を守る会にて(2/11)



文化芸能フェスティバルを鑑賞させて頂きました(2/10)。